

2026年4月吉日

関係各位

一般社団法人  
国際メディカル・コーディネーター事業者協会  
事務局長 坂上 勝也

## 事務局長就任のご挨拶

この度、一般社団法人 国際メディカル・コーディネーター事業者協会（JIMCA）の事務局長に就任いたしました、坂上勝也でございます。

私はこれまで、医療機器の専門商社として医療現場を支えるとともに、2010年からはメディカルツーリズムの事業化に尽力してまいりました。当時は未開拓であったこのメディカルツーリズム分野において、日本国内のリーディングカンパニーの一つとして事業を成長させた経験は、私のキャリアにおける大きな財産となっております。

現在、日本の医療インバウンドは大きな転換期を迎えています。海外現地のニーズを的確に捉え、日本の高度な医療技術を「安全・安心」という信頼のブランドとともに届けることが重要です。当協会は、2021年の設立以来、「医療インバウンド外国人患者様に安全・安心に日本の医療を受けてもらうこと」を理念に掲げ、業界ガイドラインの策定や国際メディカル・コーディネーターの質向上に努めてまいりました。

事務局長として、私は以下の3つの柱を軸に、協会のさらなる発展に貢献したいと考えております。

### 1. サービスの質と信頼性の確立

日本への医療渡航を希望する外国人患者様が、迷うことなく高品質な支援を受けられるよう、業界ガイドラインの普及と「国際メディカル・コーディネーター」の地位確立を急ぎます。

### 2. 医療DXとITの活用による効率化

医療インバウンド業務におけるデジタルトランスフォーメーションを推進します。医療情報のスムーズな連携と多言語対応の強化を図り、外国人患者様・コーディネーター事業者・医療機関様の双方にとって負担の少ない環境を整備いたします。

### 3. 官民連携と国際的なネットワークの拡大

日本政府機関さらには海外の保健当局との連携を深め、会員企業の皆様にとっての事業機会を創出するとともに、医療インバウンドに繋がる日本式医療のプレゼンスを世界に高めてまいります。

医療は「人」が支えるものです。コーディネーターという「橋渡し」の仕事が、外国人患者様と日本の医療機関の双方にとっての「信頼の架け橋」となるよう、誠心誠意取り組んでまいります。

会員企業の皆様、ならびに関係諸機関の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。